



活動報告



水道技術者研修会（Aコースオンライン研修：12月1日～22日【配信期間】）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年未満）の方々42名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水源・取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「浄水施設」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理」、「給水装置」の科目について、オンラインによる研修を実施した。

第271回衛生常設調査委員会（12月1日）

はじめに、本荘谷工務部長より開会の挨拶を行った。

続いて、環境省水・大気環境局環境管理課水道水質・衛生管理室の東室長から、最近の水道水質行政について情報提供があった。



議事に入り、木村委員長（東京都水道局）進行の下、「JWWA K149（水道用コンクリート水槽内面FRPライニング材料）の改正について」及び「JWWA K135（水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法）並びにJWWA K157（水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法）の衛生性に関する改正について」に関する審議を行った。

また、「水質管理向上のための水質応援プログラムの設立」、「水質試験方法等調査専門委員会（全体会、各部会）」、「JWWA K113（水道用粉末活性炭）の改正について」及び「水道GLPの状況」について事務局より報告を行った。

第143回人材マネジメント専門委員会（12月2日）

委員会では、審議事項「人材確保・育成等に関する調査審議について」、まず、「①スケジュールの確認と本日の審議の流れ」として、今までの審議経過の確認と本日の審議内容を事務局より説明した。次に、「②日本水道協会の研修状況について」、「③中小規模水道事業体の研修実態・ヒアリング結果」、「④委員事業体等の研修について」、委員及び事務局より説明を行い、質疑応答を行った。



最後に、上記の各報告を踏まえ、「⑤研修資料（OJT補助資料）案について」事務局より説明を行い、了承された。

報告事項「①『水道の基盤強化ミーティング』の実施報告について」、「②令和7年度全国会議・2025広島水道展における体験型水道イベント実施報告について」は、事務局より資料を配布した。

水道技術者研修会（Bコース：12月3日～12日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年以上）の方々44名の参加を得て、「水道計画」、「水道基礎工学」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水源・取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「浄水施設」、「漏水防止実習」、「機械・電気・計装設備」、「水質管理（概論）」、「水質管理（浄水処理・送配水）」、「給水装置」、「水道の危機管理」について研修を実施した。

また、研修会初日に行われたグループ別ディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

配管設計講習会（九州会場第2回：12月3日～5日、関西会場：12月10日～12日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々109名（九州会場：59名、関西会場：50名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

第797回抄録委員会（12月12日）

テーマ別抄録及びオムニバス記事の作成について審議を行った。

第212回水道 GLP 認定委員会（12月16日）

水道 GLP 認定について審議した結果、（新規認定）一般社団法人徳島県薬剤師会（JWWA-GLP154）を決定した。また、（認定更新）大阪市水道局（JWWA-GLP001）及び岡山県広域水道企業団（JWWA-GLP102）を決定した。更に（認定維持）福山市上下水道局（JWWA-GLP027）及び株式会社安全性研究センター（JWWA-GLP120）を決定した。



水道施設耐震技術研修会（東京会場：12月17日～19日）

水道施設の耐震設計業務等に携わる方々88名の参加を得て、「水道施設の耐震化の概要」、「総則（水道施設の地震対策、耐震設計の基本）」、「構造物別の耐震計算と性能照査」、「水管橋および水路橋の耐震計算と性能照査」、「水道施設における建築物の耐震計算法」、「機械電気設備の耐震設計」、「池状構造物」について研修を実施した。

第1041回会誌編集委員会（12月18日）

本誌1月号の編集方針、投稿原稿の査読状況等について審議を行った。